

請 願 番 号	請願第1号
件 名	75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対する意見書の提出を求める請願
受 理 年 月 日	令和3年3月3日
紹 介 議 員	井深正美、森下満寿美、堀田信夫、田中成佳、服部勝弘、松原徳和、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	厚生委員会
<p>( 請 願 要 旨 )</p> <p>75歳以上の医療費窓口負担の1割から2割への引上げについて、公益社団法人日本医師会の中川俊男会長は、新型コロナで特に高齢者は受診を控えている、今でも受診を控えているのに自己負担を倍にするという感覚は到底理解し得ないと批判され、また、多くの医療関係団体からも高齢者の受診控えが深刻化するとの反対の声が上がっている。</p> <p>国は、現役世代と負担を公平化することを名目に、75歳以上の医療費窓口負担2割化を提案している。しかし、そもそも1人当たりの医療費は、年齢とともに上昇するが、逆に年収は低下するため、患者の年収に占める医療費の割合は増加していくことになる。後期高齢者の患者一部負担金は、1割負担であっても現役世代との比較で1.7倍の負担となっており、現在でも重い負担となっている。1割負担の現在でも医療費の窓口負担が重いことを理由に、受診を控える高齢者は後を絶たない。このまま2割負担に引き上げれば、高齢者の受診控えはさらに広がり、重篤化による医療費の増大を招くことは明らかであるとともに、手後れによる死亡者を増大させかねない。</p> <p>今まで社会を支えてきた高齢者が医療を受けるとき、お金の心配をすることなく安心して治療が受けられるよう、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 国会で審議予定の75歳以上の医療費窓口負担2割化に関する法案に対し、患者負担が多いため、反対する意見書を国に提出すること。</p>	
付 託 年 月 日	令和 3年 3月18日 (木)
審 査 結 果	令和 3年 3月25日 (木) 不採択